

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-011989
 (43)Date of publication of application : 15.01.2002

(51)Int.CI. B43K 7/02
 B43K 7/06
 B43K 7/08

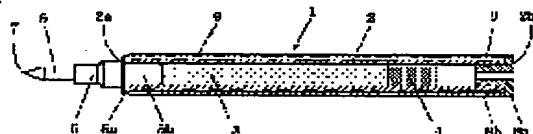
(21)Application number : 2000-197771 (71)Applicant : PILOT CORP
 (22)Date of filing : 30.06.2000 (72)Inventor : TAKANO ATSUSHI
 SASAKI KAZUHIKO

(54) BALL-POINT PEN REFILL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a ball-point pen refill with outstanding gas barrier properties which prevent ink from leaking from a fitted part between an ink storage pipe and a ball-point pen tip, a tip holder or a tail plug and imparts a sophisticated appearance.

SOLUTION: In the ball-point pen refill consisting of the ink storage pipe with is made of a resin and directly filled with ink for a ball-point pen and the ball-point pen tip embracing a ball in a freely rotating manner, arranged directly or through the tip holder at the tip of the ink storage pipe, a metallic member is arranged so that at least a part of the outer periphery of the ink storage pipe is covered.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-11989

(P 2 0 0 2 - 1 1 9 8 9 A)

(43)公開日 平成14年1月15日(2002.1.15)

(51) Int.Cl. 7

B43K 7/02
7/06
7/08

識別記号

F I

B43K 7/06
7/08
7/02

テーマコード (参考)

2C350

A

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全4頁)

(21)出願番号

特願2000-197771(P 2000-197771)

(22)出願日

平成12年6月30日(2000.6.30)

(71)出願人 000005027

株式会社パイロット

東京都中央区京橋二丁目6番21号

(72)発明者 鷹野 淳

群馬県伊勢崎市長沼町1744-2 株式会社

パイロット伊勢崎工場内

(72)発明者 佐々木 和彦

群馬県伊勢崎市長沼町1744-2 株式会社

パイロット伊勢崎工場内

Fターム(参考) 2C350 GA03 KC01 KF01 KF03 NA10

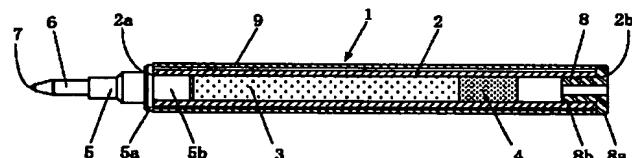
NA15 NC04 NC10

(54)【発明の名称】ボールペンレフィル

(57)【要約】

【課題】インキ収容管とボールペンチップ、チップホルダーまたは尾栓等の嵌合部からのインキ漏れを防止するとともに、外観上の高級感を得ることができ、さらにガスバリアー性の優れたボールペンレフィルを提供する。

【解決手段】ボールペン用インキを直に充填した、樹脂製からなるインキ収容管の先端に、ボールを回転自在に抱持したボールペンチップを直接あるいはチップホルダーを介して配設してなるボールペンレフィルにおいて、前記インキ収容管の外周の少なくとも一部が被覆するよう、金属部材を配設する。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ボールペン用インキを直に充填した、樹脂製からなるインキ収容管の先端に、ボールを回転自在に抱持したボールペンチップを直接あるいはチップホルダーを介して装着してなるボールペンレフィルにおいて、前記インキ収容管の外周を金属部材で被覆したことを特徴とするボールペンレフィル。

【請求項2】 前記樹脂製からなるインキ収容管が、透明または半透明状であり、前記金属部材にインキ残量を確認するための窓孔を形成したことを特徴とする請求項1に記載のボールペンレフィル。

【請求項3】 前記ボールペンチップが、チップホルダーを介してインキ収容管に配設するとともに、インキ収容管の後端に尾栓を装着し、該チップホルダーおよび尾栓に、インキ収容管の外径より大きな外径を有する鈎部を形成し、前記金属部材を、チップホルダーの鈎部と尾栓の鈎部間に配設したことを特徴とする請求項1ないし2に記載のボールペンレフィル。

【請求項4】 前記インキ収容管が、樹脂製のチップホルダーおよび／または尾栓を、該チップホルダーおよび／または尾栓に形成した突部を金属部材の開口部に装着し、該突部に形成した突出部を、インキ収容管の先端および／または後端開口部に装着したことを特徴とする請求項1ないし3いずれか1項に記載のボールペンレフィル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ボールを回転自在に抱持したボールペンチップを配設してなるボールペンレフィルに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のボールペンレフィルは、樹脂製または金属製からなるインキ収容管の先端に、ボールを回転自在に抱持したボールペンチップを直接あるいはチップホルダーを介して配設してなるものは知られている。また、ボールペンレフィルにインキを直に収容するボールペンレフィルもよく知られている。

【0003】 インキを直詰めにしたボールペンレフィルにおいては、インキ収容管とボールペンチップまたはチップホルダーとの嵌着部、またインキ収容管に尾栓を嵌着した構造のものでは、尾栓の嵌着部からインキ漏れが発生しないように、インキ収容管とボールペンチップまたはチップホルダーや尾栓における嵌着部との寸法関係を厳密に設定する必要がある。特に低粘度インキや剪断減粘性を付与したインキにおいては、前記インキ漏れが顕著に現われるため、前記寸法関係は特に注意する必要があった。

【0004】 ところで、前述したようにボールペンレフィルには樹脂製または金属製のものがよく知られているが、寸法管理においては樹脂製の方が容易であり、特に

接着や溶着でない嵌合、例えば圧入嵌合により密閉状態を形成するには金属と金属より、樹脂と金属、さらに好ましくは樹脂と樹脂との組み合わせがよいことは当業者であれば容易に相知することである。また、ガスバリア一性を考慮した場合は、樹脂製に比べ金属製のほうが優れている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、樹脂製のボールペンレフィルの場合には、前述したように密閉状態を形成するには容易であるが、金属に比べ外観上の高級感が得られないことも事実である。また、金属製のボールペンレフィルは、外観上の高級感は得られるが、前述したように寸法管理が難しく、さらに複雑な形状を形成し難いという問題があった。

【0006】 また、樹脂製のインキ収容管にフィルムを転写したり、印刷を施すなど、外観上の高級感を創り出しているものあるが、フィルム転写や印刷では、金属独特の光沢感や重厚感を得るまでには至っていない。また、前記方法は、金属に比べガスバリア一性は劣っている。

【0007】 本発明はこうした事実に鑑みてなされたもので、インキ収容管とボールペンチップ、チップホルダーまたは尾栓等の嵌合部からのインキ漏れを防止するとともに、外観上の高級感を得ることができ、ガスバリア一性の優れたボールペンレフィルを提供するものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明は、ボールペン用インキを直に充填した、樹脂製からなるインキ収容管の先端に、ボールを回転自在に抱持したボールペンチップを直接あるいはチップホルダーを介して配設してなるボールペンレフィルにおいて、前記インキ収容管の外周を金属部材で被覆したことを特徴とする。

【0009】 また、前記樹脂製からなるインキ収容管が、透明または半透明状であり、前記金属部材にインキ残量を確認するための窓孔を形成したことを特徴とする。

【0010】 さらに、前記ボールペンチップが、チップホルダーを介してインキ収容管に配設するとともに、インキ収容管の後端に尾栓を装着し、該チップホルダーおよび尾栓に、インキ収容管の外径より大きな外径を有する鈎部を形成し、前記金属部材を、チップホルダーの鈎部と尾栓の鈎部間に配設したことを特徴とする。

【0011】 さらに、前記インキ収容管が、樹脂製のチップホルダーおよび／または尾栓を、該チップホルダーおよび／または尾栓に形成した突部を金属部材の開口部に装着し、該突部に形成した突出部を、インキ収容管の先端および／または後端開口部に装着したことを特徴とする。

【0012】

【発明の実施の形態】本発明におけるインキ収容管には、P E T樹脂、P E樹脂、P P樹脂、P O M樹脂、A S樹脂等、一般的に知られている樹脂材を適宜選択して使用することができる。尾栓やチップホルダーを有する構造の場合も、インキ収容管と同様に、一般的に知られている樹脂材を適宜選択して使用することができる。また、金属部材もステンレス鋼、黄銅、アルミニウム等、適宜選択して使用することができる。また、本発明ではインキ収容管の外周を金属部材で被覆したことを特徴としているが、本発明の被覆とは、インキ収容管に密着あるいは間隙を設けてあってもよく、金属部材も一種に限定することなく、数種類あるいは複数の金属部材を連結して被覆してあってもよい。樹脂製のインキ収容管のみの場合より、金属を被覆することによってガスバリアー性が向上することは言うまでもない。

【0013】また、インキ収容管に直接充填するインキは、水性インキ、油性インキ、剪断減粘性を付与したインキ等、特に限定することなく使用することができるが、前述したように、粘度の低いインキを用いる場合には嵌合部からインキ洩れし易いため特に有効である。

【0014】

【実施例】本発明の実施例を、図面を用いて説明する。図面中、同部材および同箇所を示すものは同じ符号を付した。

実施例1

図1に示す、本発明のボールペンレフィル1は、P P樹脂からなる透明のインキ収容管2に剪断減粘性を付与したインキ3およびインキの後端に、インキの消費に伴い追従するグリース状のインキ追従体4を直接充填し、インキ収容管2の先端開口部2 aには、P O M樹脂からなるチップホルダー5の一のインキ収容管の後端開口部2 b側に突出した突部5 bを圧入装着し、チップホルダー5の先端開口部には、ボール7を回転自在に抱持したボールペンチップ6の後端部を圧入装着する。インキ収容管の後端開口部2 bには、P E樹脂からなる尾栓8の突部8 bを圧入装着する。チップホルダーの鈍部5 aおよび尾栓の鈍部8 aは、インキ収容管2の外径より大きく設定しており、チップホルダー5の鈍部5 aとの鈍部8 a間に、インキ収容管2の外周に円筒状の金属部材9を配設することによりボールペンレフィル1を得た。

【0015】前記したボールペンレフィル1は、樹脂製のインキ収容管2と樹脂製のチップホルダー5との圧入嵌合であり、寸法精度を厳密に設定することができるので、該嵌合部よりインキ洩れが生じ難い。さらに、インキ収容管2の外周に金属部材9を配設してあるので、外観上の高級感およびガスバリアー性を向上することができる。また、金属部材9は、チップホルダーの鈍部5 aと尾栓の鈍部8 a間に配設しているので、軸芯方向への移動を防止することができる。

【0016】実施例2

図2に示すボールペンレフィル2 1は、金属部材の別例を示すもので、金属部材2 9をインキ収容管2の外周に螺旋状に配設した以外は、実施例1と同様にしてボールペンレフィル2 1を得ている。金属部材2 9を螺旋状とし、金属部材2 9に間隙を形成してあり、この間隙が窓孔3 0となりインキ残量を確認することができる。

【0017】実施例3

図3、4に示す、ボールペンレフィル4 1は、実施例1と同様にP P樹脂からなる透明のインキ収容管2に剪断減粘性を付与したインキ3およびインキの後端に、インキの消費に伴い追従するグリース状のインキ追従体4を直接充填してある。金属部材4 9の後端開口部には、P E樹脂からなる尾栓4 8の突部4 8 bを圧入装着し、金属部材4 9先端開口部には、P O M樹脂からなるチップホルダー4 5の突部4 5 bを圧入装着する。このとき、チップホルダーの突部4 5 bよりさらに突出した突出部4 5 cをインキ収容管2の先端開口部に圧入装着する。

【0018】チップホルダー4 5を金属部材4 9とインキ収容管2と共に嵌合することで、金属部材4 9の配設位置の設定を容易にし、金属部材の回転移動等のガタツキを防止することができる。また、金属部材4 9には窓孔5 0を形成してあるので、インキ残量を確認することができる。

【0019】本実施例では、便宜上、P P樹脂からなる透明のインキ収容管、P O M樹脂からなるチップホルダー、P E樹脂からなる尾栓を用いているが、樹脂材は、適宜選択して用いることができる。また、チップホルダー、尾栓、金属部材の装着方法に圧入を用いているがこれに限るものではない。

【0020】

【発明の効果】本発明の筆記具の軸筒は、前述したような構造なので、インキ収容管とボールペンチップ、チップホルダーまたは尾栓等の嵌合部からのインキ漏れを防止するとともに、外観上の高級感を得ることができ、さらにガスバリアー性の優れたボールペンレフィルを提供することができた。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例1のボールペンレフィルの要部縦断面図である。

【図2】本発明の実施例2のボールペンレフィルの外観図である。

【図3】本発明の実施例3のボールペンレフィルの要部縦断面図である。

【図4】図3におけるチップホルダー嵌合部と尾栓嵌合部の一部省略した拡大要部断面図である。

【符号の説明】

1、2 1、4 1 ボールペンレフィル

2 インキ収容管

5、4 5 チップホルダー

5 a、4 5 a 鈍部

5 b、45 b 突部

45 c 突出部

6 ポールペンチップ

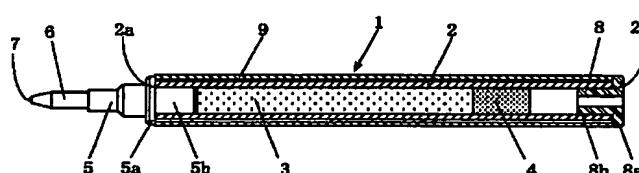
7 ポール

8、48 尾栓

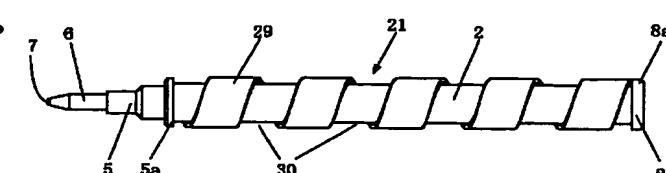
8 a、48 a 鰐部

8 b、48 b 突部

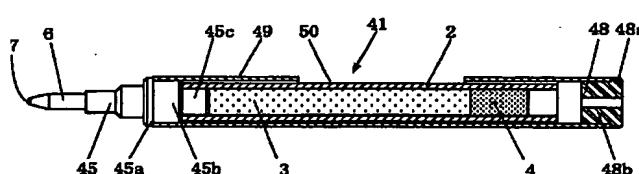
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

